



令和6年度体育指導力アップ研修会

6月11日に山名小学校において、体育指導力アップ研修会が開催されました。大藤小学校の宮田貴史先生に、「短距離走・リレー」の指導法について御指導いただきました。

☆楽しい要素が詰まったリレー授業！

子供たちが体育授業で**楽しさを感じる瞬間**には次のような要素があるそうです。

- ①動く : 体を動かしているとき 活動量の確保！
- ②集う : 友達と一緒に活動するとき 協調
- ③分かる : やり方・コツが分かったとき 磐周小体連の目指す姿！
- ④伸びる : 記録が伸びたとき、できるようになったとき

単元の目標：スピードにのったバトンパスをすることができる。



- ①25mのタイムと2×25mリレーのタイムを計測する
 - ・25m走のタイムを計測する
 - ・ペアを作り、二人のタイムをたし算する
- 問 たし算タイムとリレーのタイムどちらが速い？
 - ・25mずつのリレーのタイムを計測する



- ②ねことねずみ（ペア活動）
 - ・ねこグループとねずみグループにわかれて鬼ごっこ
 - ・教師が言った名前のグループがペアを追いかける
 - 例…教師「ね、ね、ねこ！」→ねこがねずみを追う
 - ※逃げる人は真っすぐ逃げる



- ③バトンパスの練習と計測
 - ・バトンパスのコツを確認する
 - ☆左手で渡す ☆声かけ ☆リードのタイミング
 - リードを始める位置を何足分かで決める
 - ・ペアで練習・計測（以下のように場を設定する）

🔍ココに注目🔍

練習を重ねるとどんどん記録が伸びる。そこで、一度に多くの子供が活動できるような場の設定を行う。ICT 機器で動画を撮り、自分の動きを振り返ると、よりよいバトンパスの方法が分かる。友達と試行錯誤してパスの練習をすることで、記録が伸びる楽しさが感じられる！

